

ワシントン地下鉄車両の脱線事故に関連するご質問について

2021年10月12日に発生したワシントン地下鉄車両の脱線事故については、現在NTSB（National Transportation Safety Board：国家運輸安全委員会）が原因の調査を行っており、当該脱線車両の不具合の発生原因、脱線との関連性は特定されていません。

川崎重工グループは、ワシントン首都圏交通局（WMATA: Washington Metropolitan Area Transit Authority）およびNTSBからの要請に従い、現地にて調査に協力しています。

本件に関する質問について、以下のとおり回答していますのでお知らせします。

	質 問	回 答
1	WMATA7000系車両プロジェクトの概要は？	契約者：Kawasaki Rail Car, Inc. 受注時期：2010年5月 両数：748両 納入年：2015～2020年
2	今回脱線した車両はいつ、どこで製造したのか？	製造年：2016年 製造場所：Kawasaki Rail Car, Inc.(ニューヨーク州ヨンカース) Kawasaki Motors Manufacturing Corp.,U.S.A. (ネブラスカ州リンカーン)
3	WMATA7000系車両と同形式の台車は、他の鉄道事業者でも使用されているか？	WMATA7000系車両と同形式の台車を使用している北米の鉄道事業者はありません（台車の仕様は車種により異なります）。 日本の鉄道事業者においても同形式の台車は使用されていません。
4	WMATA7000系車両納入後の保守・運行には、どのように関係しているのか？	車両の保守・運行はWMATAで実施されており、必要に応じKawasaki Rail Car, Inc.が部品供給、技術支援をしています。
5	2018年のWMATA7000系車両製造時の配線施工不良との関連はあるか？	今回の事故とは関係ありません。
6	WMATA7000系車両の品質に問題があったのか？	全ての車両はWMATAに引き渡した時点で、技術仕様に合致していたことを確認しています。
7	これまで北米の鉄道事業者に納入した車両が脱線し、その原因が当社責となったことはあるか？	ありません。
8	北米での川崎重工グループの鉄道車両の納入実績数は？	1982年にフィラデルフィア路面電車を納入して以来、ニューヨークやワシントンの地下鉄車両など、現在まで約4,400両を納入しています。